



ローカルの魅力満載
てくてくわがまちさんぽ

Vol.7
宮古島市

びさらあやんつ
平良綾道を歩く 約2.6km

美しく趣がある道歩き
宮古島の歴史を知る

大小8つの島からなる宮古郡島の中心地・宮古島市。美しい海浜景観やトライアスロンなどリゾート観光地としてにぎわう魅力的な街です。

旧市街地には「平良綾道」と呼ばれる散策コースがあり、のんびりと史跡や文化財をたどりながら、宮古島の歴史を深く知ることができるとおすすめの場所。ちなみに、綾道とは、宮古島の言葉で「美しい道」や「趣のある道」という意味です。

宮古島市を訪れる際には、ぜひ立ち寄りやすいスポットです。



4 人頭税を象徴する人頭税石。人頭税は15歳になると課せられた重税で、3世紀に渡って島の人々を苦しめた負の遺産。



1 出発は日本最南端の神社である宮古神社から。高台に位置しているので境内から海を眺めることもできるという。



5 大和井(ヤマトガイ)は、江戸時代に役人が利用するために整備された井戸。石工技術の造形美に圧倒される空間。



2 宮古島を代表する御嶽である漲水御嶽(はりみずうたぎ)は、宮古島の創造神話の神々が祀られている。



6 平良綾道から外れて宮古島市公設市場へ。来間島の伝統発酵食「みき」は、やわらかな甘さとほんのりとした酸味が特徴。



3 宮古島の墓「ミヤカ」と沖縄島の横穴式墓の折衷形式で造られた仲宗根豊見親(なかそねとうゆみや)の墓。

Check

コースMAPはこちら



今月の運動量 ※歩行時間や消費カロリーは個人差があります

歩行距離 約2.6km 歩行時間 約35分

消費カロリー 約120kcal なまり節 1/4本くらい ※1本あたり280gで計算

広告